

第I部 英国の国情

(資料作成者注：特記しない限り、外務省の次の資料による。)

英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）

英国（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）

(United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)

基礎データ

令和3年11月16日

○国旗



○領域



一般事情

1 面積

24.3 万平方キロメートル（日本の約 3 分の 2）

2 人口

6,708 万人（2020 年）（資料作成者注：日本の 2020 年の人口：1 億 2585 万人の約 53.3%）

3 首都

ロンドン（人口約 902 万人、2020 年）

4 言語

英語（ウェールズ語、ゲール語等使用地域あり）

5 宗教

英国国教会等

6 国祭日

女王公式誕生日（毎年決定される。6 月の第 2 土曜日が多い。）

6-2 上記 6 以外の祝祭日

日本貿易振興機構（ジェトロ）によれば、上記以外に次の祝祭日がある。 (<https://www.jetro.go.jp/world/europe/uk/holiday.html>)

2022 年版

イングランド・ウェールズ			
日付	曜日	祝祭日名称(日本語)	祝祭日名称(現地語など)
1月1日	土曜	新年	New Year's Day
1月3日	月曜	振替休日(新年)	Substitution(New Year's Day)
4月15日	金曜	聖金曜日	Good Friday
4月18日	月曜	復活祭月曜日	Easter Monday
5月2日	月曜	アーリー・メイ・バンク・ホリデー	Early May Bank Holiday
6月2日	木曜	スプリング・バンク・ホリデー	Spring Bank Holiday
6月3日	金曜	プラチナム・ジュビリー・バンク・ホリデー	Platinum Jubilee Bank Holiday
8月29日	月曜	サマー・バンク・ホリデー	Summer Bank Holiday
12月25日	日曜	クリスマス	Christmas Day
12月26日	月曜	ボクシング・デー	Boxing Day
12月27日	火曜	振替休日(クリスマス)	Substitution(Christmas Day)
スコットランド			
日付	曜日	祝祭日名称(日本語)	祝祭日名称(現地語など)
1月1日	土曜	新年	New Year's Day

イングランド・ウェールズ			
日付	曜日	祝祭日名称(日本語)	祝祭日名称(現地語など)
1月2日	日曜	新年	2nd January
1月3日	月曜	振替休日(新年)	Substitution(New Year's Day)
1月4日	火曜	振替休日(1月2日新年)	Substitution(2nd January)
4月15日	金曜	聖金曜日	Good Friday
5月2日	月曜	アーリー・メイ・バンク・ホリデー	Early May Bank Holiday
6月2日	木曜	スプリング・バンク・ホリデー	Spring Bank Holiday
6月3日	金曜	プラチナム・ジュビリー・バンク・ホリデー	Platinum Jubilee Bank Holiday
8月1日	月曜	サマー・バンク・ホリデー	Summer Bank Holiday
11月30日	水曜	セント・アンドリュース・デー	St Andrew's Day
12月25日	日曜	クリスマス	Christmas Day
12月26日	月曜	ボクシング・デー	Boxing Day
12月27日	火曜	振替休日(クリスマス)	Substitution(Christmas Day)
北アイルランド			
日付	曜日	祝祭日名称(日本語)	祝祭日名称(現地語など)
1月1日	土曜	新年	New Year's Day
1月3日	月曜	振替休日(新年)	Substitution(New Year's Day)
3月17日	木曜	セント・パトリック・デー	St Patrick's Day

北アイルランド			
日付	曜日	祝祭日名称(日本語)	祝祭日名称(現地語など)
4月15日	金曜	聖金曜日	Good Friday
4月18日	月曜	復活祭月曜日	Easter Monday
5月2日	月曜	アーリー・メイ・バンク・ホリデー	Early May Bank Holiday
6月2日	木曜	スプリング・バンク・ホリデー	Spring Bank Holiday
6月3日	金曜	プラチナム・ジュビリー・バンク・ホリデー	Platinum Jubilee Bank Holiday
7月12日	火曜	オレンジ党勝利記念日	Battle of the Boyne (Orangemen's day)
8月29日	月曜	サマー・バンク・ホリデー	Summer Bank Holiday
12月25日	日曜	クリスマス	Christmas Day
12月26日	月曜	ボクシング・デー	Boxing Day
12月27日	火曜	振替休日(クリスマス)	Substitution (Christmas Day)

7 略史

年月	略史
1066年	ノルマンディ公ウィリアム、イングランドを征服

年月	略史
1707 年	スコットランド王国及びイングランド王国合併、グレートブリテン連合王国成立
1801 年	グレートブリテン及びアイルランド連合王国成立
1858 年	日英修好通商条約締結
1902 年～1923 年	日英同盟
1922 年	グレートブリテン及び北アイルランド連合王国へ改称(南アイルランドの分離)
1952 年	エリザベス二世女王即位
1973 年	拡大 EC 加盟
1979 年 5 月	サッチャー保守党内閣成立

年月	略史
1990年11月	メージャー保守党内閣成立
1997年5月	ブレア労働党内閣成立
2007年6月	ブラウン労働党内閣成立
2010年5月	キャメロン保守党・自由民主党連立内閣成立
2015年5月	キャメロン保守党内閣成立
2016年7月	メイ保守党内閣成立
2019年7月	ジョンソン保守党内閣成立
2020年1月31日	EUから離脱

政治体制・内政

1 政体

立憲君主制

2 元首

女王エリザベス二世陛下（1952年2月6日即位）

3 議会

上院及び下院の二院制

（ア）構成

下院（庶民院） 議席数：定数 650 議席 任期：5年（解散あり）

下院の党派別内訳(2021年11月現在)

政党	議席数
保守党	360 議席
労働党	199 議席
スコットランド国民党(SNP)	45 議席
自由民主党	12 議席
民主ユニオニスト党(DUP)	8 議席
その他(小政党、無所属、議長等)	23 議席

上院(貴族院) 議席数: 定数なし(2021年11月現在 784 議席) 任期: なし(原則終身、聖職者は職にある期間)

(上院は一代貴族(任命制)、一部の世襲貴族(世襲貴族内の互選)、聖職者(国教会幹部)から構成され、公選制は導入されていない。)

上院の党派別内訳(2021年11月現在)

政党	議席数
保守党	261 議席

上院の党派別内訳(2021年11月現在)	
政党	議席数
労働党	168 議席
自由民主党	84 議席
中立(クロスベンチ)	190 議席
民主ユニオニスト党(DUP)	5 議席
その他(小政党、無所属、議長等)	49 議席
聖職者	26 議席

(イ) 選挙制度 (下院)

小選挙区単純多数代表制、全国 650 選挙区

有権者：18 歳以上の英国国民及び英連邦諸国民又はアイルランド共和国国民で英国居住者

被選挙権者：有権者と同じ。ただし、居住要件なし。

投票方法：一人一票、秘密投票

前回の総選挙：2019年12月12日、次回総選挙予定：2024年5月2日

4 政府

ジョンソン保守党内閣（2019年7月発足、2021年9月内閣改造。）

(1) 首相：

ボリス・ジョンソン（保守党）

(2) 外相：

エリザベス・トラス（保守党）

5 内政

(1) 2019年7月、メイ首相の辞意表明を受け、保守党党首選で選出されたジョンソン元外相が首相に就任。2019年12月の英国議会下院総選挙でジョンソン首相率いる保守党は1987年（サッチャー首相（当時））以来の大勝を収め、単独過半数（365議席）を獲得。

(2) 英国の EU 離脱は、2016 年 6 月の EU 離脱を問う国民投票以来、英国・EU 関係上の最大の懸案の一つであったが、英国・EU 間の離脱協定に関する双方の議会承認を経て、英国は 2020 年 1 月 31 日に EU 離脱を実現した。EU 離脱後の EU・英国間の貿易及び協力に関する協定については、2020 年 3 月から交渉が開始され、12 月 24 日に交渉妥結、英国では同 30 日に同協定の実施法案が上下両院を通過した。同協定は 2021 年 1 月から暫定適用され、12 月末の移行期間終了時に英国・EU 間の関税が設定される事態は回避された。

(3) 英国では 2020 年 3 月の新型コロナウイルス感染症拡大時にいわゆるロックダウン措置が導入された。その後、感染は落ち着いていたが、夏以降再拡大局面に入った。更に 12 月以降、変異株による感染急拡大を受け、ロックダウン再導入を含め規制を強化。同時に、世界に先駆けてワクチン承認を行い、接種を進めた。2021 年 3 月以降、政府は段階的に規制緩和を行い、7 月には規制の大部分を撤廃、「ウィズ・コロナ」へと舵を切った。

(4) 2021 年 5 月の統一地方選挙では、イングランド地方議会選では保守党が、スコットランド議会選ではスコットランド国民党（SNP）が、ウェールズ議会選では労働党が勝利し、ワクチン接種の進展等を背景にそれぞれの地域での与党有利の結果となった。

(5) 2021 年 9 月の内閣改造により、トラス前国際貿易相が外相に就任。また、ゴープ前内閣府大臣兼ランカスター公領尚書が、新設の底上げ・住宅・地域社会大臣に就任。内政面では、英国の全ての地域の「底上げ」が最重要施策。医療・介護制度改革も推進。

6 英国王室

2016年、女王エリザベス二世陛下は歴代君主最高齢となる90歳を迎え、各種行事が開催された。また、2017年2月に英王室史上初めてとなる在位65年を迎えた。

外交・安全保障

1 概要

2021年3月、英国政府は、「競争的時代におけるグローバル・ブリテン：安全保障、防衛、開発及び外交政策の統合的見直し」を発表し、英空母「クイーンエリザベス」の派遣やインド太平洋地域への関与拡大等を含む今後10年間の方針を対外的に打ち出した。

2 国防予算等

(1) 国防予算（2019年） 約548億ドル（ミリタリー・バランス2020）

(2) 兵役

志願制

(3) 兵力

陸軍約 8.4 万人、海軍・海兵隊約 3.9 万人、空軍約 3.3 万人、陸海空予備役約 8 万人（ミリタリー・バランス 2020）

経済

1 主要産業

自動車、航空機、電気機器、エレクトロニクス、化学、石油、ガス、金融

2 主要貿易品目

(1) 輸出

自動車、医薬品及び医療用品、発動機、原油、航空機等

(2) 輸入

自動車、医療用品及び医薬品、精製油、発動機、衣類等

主要貿易相手国：ドイツ、米国、オランダ、中国、フランス

なお、英国の貿易総額に占める物品の割合は 64.7%であるのに対し、サービスの占める割合は 35.3%。

3 通貨

スターリング・ポンド

4 為替レート

1 ポンド=約 153 円 (2021 年 11 月 15 日付)

5 経済概要

2020 年の経済成長率は、史上最低の -9.8%となった。2021 年に経済は急速に回復（4~6 月の経済成長率+5.5%）したものの、消費者物価指数（CPIH）は、2020 年 9 月までの年間 0.7%から、2021 年 9 月までの年間 2.9%まで上昇。

政府は、新型コロナ対応として、一時帰休スキームの導入や低所得者向け給付金の上乗せ等の財政支援に計 4,070 億ポンドを支出し、公的債務は戦後最高

水準まで増大。2021年10月27日発表の中期歳出見直し及び秋季予算においては、前回予算と比較して高い成長見通し（2021年+6.5%、2022年+6%）

の下、インフラ・イノベーション・スキルへの投資の増加や最低賃金の引上げ等が盛り込まれた。

（出典：英国統計局）

＜各種指標＞	単位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
GDP（実質）	10億ポンド	1,873	1,900	1,941	1,997	2,044	2,079	2,115	2,142	2,173	1,957
上記の米ドル表記（2020年のみ）											
GDP（名目）	10億ポンド	1,660	1,712	1,780	1,863	1,920	1,995	2,069	2,142	2,218	2,113
上記の米ドル表記（2020年のみ）											2,710（単位10億米ドル）。日本の2020年名目GDP5045（単位：10

(出典:英国統計局)

<各種指標>	単位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
											億米ドル： 内閣府資料)の約 53.7%)
一人当り GDP	ポンド	26,233	26,870	27,772	28,840	29,483	30,385	31,326	32,238	33,212	31,446
上記の米ドル 表記(2020 年のみ)											40.4(単位 千ドル) (内閣府 資料：日本 の40.1の 約100.7%)
経済成長率 (実質)	%	1.3	1.4	2.2	2.9	2.4	1.7	1.7	1.3	1.4	-9.8

(出典:英国統計局)

<各種指標>	単位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
消費者物価 上昇率	%	4.6	2.3	2.0	0.6	-2.0	-1.0	2.7	2.5	1.2	0
失業率	%	8.1	8.0	7.6	6.2	5.4	4.9	4.4	4.1	3.8	4.5 (内閣:日 本の2020 年の失業 率は、 2.8%)
輸出額	10億ポンド	510	513	532	525	523	563	623	662	689	572
輸入額	10億ポンド	526	535	557	554	552	599	653	687	717	581

(出典:英国統計局)

<各種指標>	単位	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
財政収支	年、GDP比%	0.4	-1.0	-2.0	-2.0	-2.3	-2.4	-1.2	-1.3	-0.7	

(単位:10億円)(出典:財務省貿易統計)

		輸出		輸入		収支
英国の EU28 域内物品貿易		145	(100%)	226	(100%)	-81
(内訳) 主な相手国	ドイツ	32	(22%)	55	(24%)	-23
	オランダ	20	(14%)	36	(16%)	-16

(単位:10 億円)(出典:財務省貿易統計)

		輸出		輸入		収支
	フランス	18	(13%)	24	(11%)	-6
	アイルランド	22	(15%)	13	(6%)	8
英国の EU27 域外物品貿易		167	(100%)	202	(100%)	-35
(内訳) 主な相手国	米国	47	(28%)	37	(18%)	11
	中国	18	(11%)	54	(27%)	-36
	スイス	13	(8%)	5	(3%)	8
	香港	9	(5%)	7	(4%)	1

二国間関係

1 政治関係

(1) 日英関係の幕開け

日英両国は、1600年に英国人航海士ウィリアム・アダムス（三浦按針）が、豊後（現在の大分県）にオランダ船で漂着して以来、400年以上にわたる交流の歴史を有する。1858年の日英修好通商条約締結により外交関係を開設。1902年には日英同盟が結ばれた（1923年失効）。第二次世界大戦前後の一時期を除き、両国は良好な二国間関係を維持している。2018年には、外交関係開設160周年を迎えた。

(2) 基本的な価値を日本と共有するパートナーとしての英国

日英両国は、自由、民主主義、人権、法の支配といった基本的価値を共有するグローバルな戦略的パートナーであり、政治、安全保障・防衛、経済、文化、科学技術、教育等、様々なレベル・分野において緊密な協力関係を有している。2017年4月28日の安倍総理訪英に続き、2017年8月にはメイ首相が公賓として初訪日し、ア 安全保障、イ 経済パートナーシップ、ウ 世界の繁栄・成長を柱に、日英協力を更なる高みに引き上げるための戦略的協力の方向性を確認した。首脳会談に際し、両首脳は「日英共同ビジョン声明」、「安全保障協力に関する日英共同宣言」、「繁栄協力に関する日英共同宣言」及び「北朝鮮

に関する共同声明」を発出した。また、2019年1月には、安倍総理が英国を訪問し、メイ首相との間で今後10年の課題と機会を見据えた「日英首脳共同声明」を発出し、ルールに基づく国際秩序を維持し、グローバル・地域的な安全保障及び自由貿易を推進するため、最も親密な友人でありパートナーとして、日英関係が次の段階に引き上げられたことを確認した。

(3) 皇室・王室関係

2012年5月、女王エリザベス二世陛下からの御招請を受け、天皇皇后両陛下（当時）は女王陛下御即位60周年記念行事に御出席になるため英国を御訪問された。

2015年2月から3月にかけて、ケンブリッジ公爵殿下（ウィリアム王子）が日本を御訪問された。2019年10月、ラグビーW杯観戦のため、プリンセス・ロイヤル殿下（アン王女）が日本を訪問された。同月、即位礼正殿の儀御参列のため、プリンス・オブ・ウェールズ殿下（チャールズ皇太子）が日本を御訪問された。翌11月、ラグビーW杯観戦のため、サセックス公爵殿下（ハリー王子）が日本を御訪問された。

(4) 安全保障・防衛協力

英国は、2021年3月に発表された「競争的時代におけるグレートブリテン：安全保障、防衛、開発及び外交政策の統合的見直し」において日本を「安全保障面を含め、最も緊密な戦略的パートナーの一つ」と位置づけている。閣僚レベルの対話の枠組みとしては、2015年から日英外務・防衛閣僚会合

（「2+2」）を開催してきている。

安全保障・防衛協力関連の国際約束としては、2013年7月に防衛装備品・技術移転協定及び情報保護協定が署名され、日英間のより緊密な防衛装備・技術協力のための法的枠組みが整備された。また、2017年1月には、日英物品役務相互提供協定（ACSA）に署名、8月に発効した。

2016年の英国空軍「タイフーン」戦闘機部隊の訪日及び国内での初の航空自衛隊との共同訓練に続き、2017年8月のメイ首相訪日以降、共同訓練や英艦船の日本寄港等、具体的な防衛協力も進展（英海軍フリゲート「サザーランド」（2018年4月）、揚陸艦「アルビオン」（2018年8月）、フリゲート「アーガイル」（2018年12月）、フリゲート「モンローズ」（2019年3月）が寄港し、海上自衛隊との共同訓練や北朝鮮による海上での不正取引を監視する国際的な取組に貢献。2019年10月には、フリゲート「エンタープライズ」が親善寄港。2018年以降、日英陸軍種共同訓練が行われており、2018年9～10月（北富士演習場等）及び2019年9～10月（スコットランド）に実施。）。

2021年8～9月には、英空母「クイーンエリザベス」を中心とする空母打撃群が日本に寄港した。

2 経済関係

(1) 日本の対英国貿易

日本にとって、英国は、欧州地域では、ドイツに次ぐ輸出先、ドイツ、フランス、イタリアに次ぐ輸入元であり、日本の輸出超過が続いている。英国にとって、日本は EU 域外では米国、中国、スイス等に次ぐ第 6 位の輸出先、中国、米国、ノルウェーに次ぐ第 4 位の輸入元である。

(ア) 貿易額

(単位:10 億円)(出典:財務省貿易統計)					
年	対英輸出		対英輸入		収支
2011 年	1,304	(5.1)	579	(3.4)	723
2012 年	1,064	(-18.4)	582	(0.0)	482
2013 年	1,084	(1.8)	641	(10.0)	443
2014 年	1,184	(9.2)	675	(5.3)	509

(単位:10 億円)(出典:財務省貿易統計)

年	対英輸出		対英輸入		収支
2015 年	1,300	(9.8)	788	(16.7)	512
2016 年	1,483	(14.8)	708	(-10.2)	775
2017 年	1,539	(3.8)	793	(12.0)	746
2018 年	1,534	(-0.4)	909	(14.6)	625
2019 年	1,513	(-1.4)	888	(-11.1)	626
2020 年	1,145	(-24.3)	685	(-22.8)	460

(イ) 主要品目

輸出： 自動車、原動機、自動車部品等

輸入： 医薬品、自動車、原動機等

(単位:億円)(出典:財務省貿易統計 2020年数値)					
輸出(日本から英国)			輸入(英国から日本)		
品目	金額	シェア	品目	金額	シェア
自動車	2,208	19%	医薬品	1,139	17%
原動機	672	5.9%	自動車	654	9.5%
自動車部品	381	3.3%	原動機	1,010	15%

(2) 日英投資関係

(ア) 進出企業数

英国に進出している日本企業数は957社で、ドイツに次いで欧州内第2位（海外在留邦人数調査統計、令和2年10月1日現在）。

英国における日系企業による常時従業員数は約17万人。欧州内第1位（経済産業省第50回海外事業活動基本調査）。

(イ) 直接投資残高（2020年末）

- 日本から英国 13兆6,455億円

日本の対外直接投資残高に占める英の割合は7%。

- 英国から日本 1兆4,991億円

対日直接投資残高に占める英の割合は6%。

（出典：日銀「国際収支統計」）

3 文化・知的交流

(1) 2018年6月、日本の魅力を発信する新しい拠点として、ジャパン・ハウス ロンドンが市内ケンジントン・ハイストリートに開館。ウィリアム王子殿下の御臨席を得て、同年9月にグランドオープニングが行われた。(日本からは麻生副総理が出席。) 来場者数は100万人を突破。

(2) 1987年に始まったJETプログラム(1978年に開始された「英国人英語指導教員招致事業(BETS)」を米国との類似事業と統合したもの)に現在までに参加した英国青年は、約1万名を超える。2019年度の新規参加者は約230名。

(3) 2001年4月、日英両国の青年がアルバイトをしながら相手国に1年間滞在するワーキング・ホリデー制度が発足し、2008年末より、英国側はYouth Mobility Schemeと名前を変え、2年間の滞在が認められている。また、2003年5月、英国人に対するボランティア査証発給が開始された。

(4) 日英のオピニオン・リーダーが二国間関係、共通の諸課題等に関し幅広く議論する場として、1984年の両国首脳間の合意に基づき、「日英21世紀委員会」が1985年より毎年日英で交互に開催されている。2020年(第37回)の21世紀委員会合同会議は、9月11日及び12日にオンラインで開催され、日本、英国両国の政治・経済の現状のほか、「パンデミック後の世界秩序」、パンデミック後の貿易・投資、グローバル・ガバナンスの能力と信頼の構築等について議論した。

(5) 在英国日本国大使館では、年間を通じて、大使館主催行事・展示を実施している。近年では、大英博物館など、英国の主要な文化機関等と協力・連携しながら、伝統文化・芸能のみならず、ポップ・カルチャーや和食等多様な文化事業を実施している。また、毎年9月にロンドン中心部において、英国最大の日本関連イ

イベントである「ジャパン祭り」が開催されており、約7万人の来場がある（2020年の「ジャパン祭り」は新型コロナウイルス感染症拡大により、オンラインで実施。）。

(6) 2017年8月日英首脳が発出した「繁栄協力に関する日英共同宣言」において、2019年ラグビーワールドカップと2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を橋渡しする形で、2019年から2020年にかけての期間を「日英文化年間」とし、日英両国において幅広い交流・協力行事を精力的に実施している。新型コロナウイルス感染症の流行による多くの事業の延期を受けて、英国における「日本文化年間」を2021年まで延長。

(7) 自治体、民間の交流も非常に盛んである。また、日英間の大学交流の促進、2020年東京五輪や2019年ラグビーワールドカップに向けた日英協力、国際交流基金と連携した日本語教育のプロモーション等も積極的に行われている。

4 在留邦人数

63,030名（2020年10月）

5 在日英国人数

16,891名（2020年12月）（在留外国人数 出典：法務省入国管理局）

6 訪日英国人数

424,279 名（2019 年）、51,024 名（2020 年）（出典：日本政府観光局（JNTO））

7 訪英日本人数

425,021 名（2019 年）（出典：英観光局）

8 要人往来（省略。もし必要がある場合には外務省ウェブサイト：[こちら](#)にアクセスしてください。）

9 二国間条約・取極

通商居住航海条約、航空協定、文化協定、原子力平和利用協力協定、領事条約、租税条約、査証免除取極、科学技術協力協定、社会保障協定、防衛装備品等の共同開発等に係る枠組み協定、情報保護協定

10 外交使節等

日本側

在英大使館（林肇特命全権大使）

在エディンバラ総領事館(藤原直総領事)

在カーディフ名誉領事(キース・メルヴィル・ダン名誉領事)

在マンチェスター名誉領事(ジョアン・エリザベス・アーメド名誉領事)

英側

在日英国大使館(ジュリア・ロングボトム駐日大使)

在大阪総領事館(キャロリン・デヴィッドソン総領事)

在北九州名誉領事館(ローレンス・ダラン・チヴァス名誉領事)

11 日英交流関係機関(2021年3月時点)

(1) 在日団体

日英友好議員連盟(会長 麻生太郎副総理兼財務大臣)

日英協会(会長 ジュリア・ロングボトム駐日大使)

在日英国商業会議所(会頭 デヴィッド・ビッケル)

(2) 在英団体

英日議員連盟(会長 ジェレミー・ハント下院議員)

日本協会(名誉総裁 リチャード王子(グロスター公爵)殿下、会長 林肇特命全権大使)

日本クラブ(会長 宮田裕彦三井物産常務執行役員欧州・中東・アフリカ本部長兼欧州三井物産社長)

在英国日本商工会議所(会頭 片山祥徳欧州三菱商事社長)

英国日本人会(会長 ウィリアムズ百子)

(3)その他

日英 21 世紀委員会